Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/04/05

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.46	-0.01
JPY/THB	0.2725	-0.0005
USD/JPY	122.79	0.27
EUR/THB	36.71	-0.25
EUR/USD	1.0972	-0.0071
USD/CNH	6.374	0.006
SGD/THB	24.66	0.00
AUD/THB	25.24	0.14
USD/INR	75.55	-0.24
USD Index	99.00	0.37

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.656	0.021
10Y (THB)	2.422	0.011
5Y (USD)	2.550	-0.008
10Y (USD)	2.395	0.013

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,929.2	10.1
WTI (Oil)	103.28	4.01
Copper	10,469.0	115.5

Stock

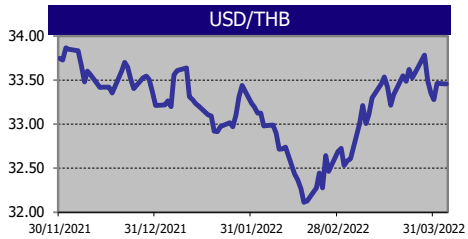
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,702.93	1.62
NIKKEI (JP)	27,736.47	70.49
DOW (US)	34,921.88	103.61
S&P500 (US)	4,582.64	36.78
SHCOMP (CN	3,282.72	0.00
DAX(GER)	14,518.16	71.68

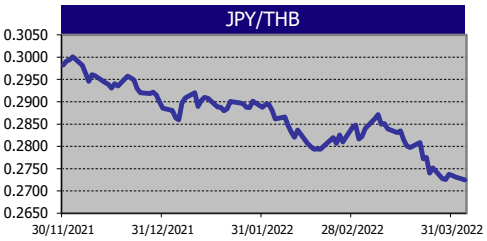
Fund Flow (Overseas Investors)

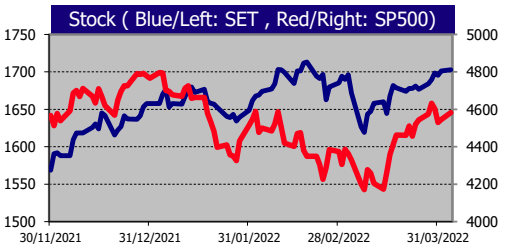
	Close	CHANGE
Stock net flow	730	-1144.9
Bond net flow	2,135	-2483.4

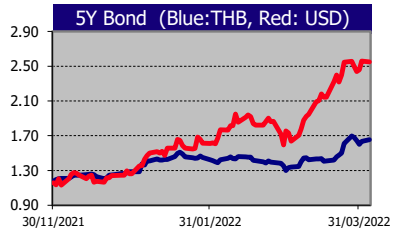
*compared with previous day

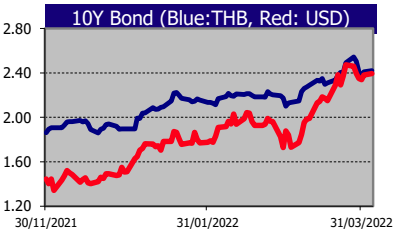
(Source: Bloomberg)

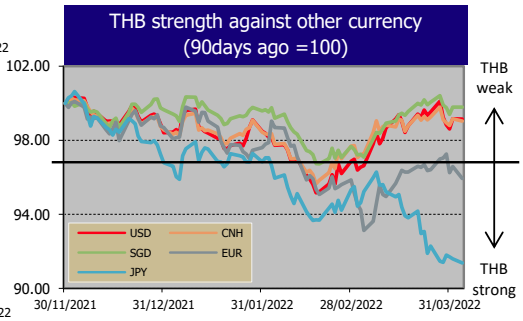


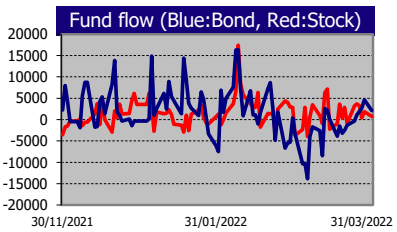


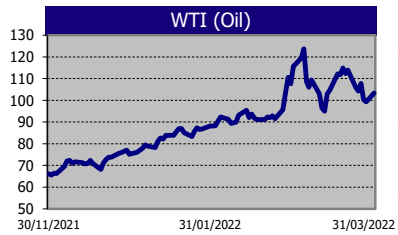












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは33バーツ半ばで取引開始。朝方の水準を中心に小動きとなっていたが、上海市のロックダウンが延長と報道されると、バンコク時間終盤にかけてバーツ売りが優勢。海外時間、ウクライナでの民間人殺害疑惑からロシアの戦争犯罪に対する制裁強化が意識され、原油相場も上昇。しかし、米債利回りが低下基調を示す中でドルバーツは上値重く、33.46レベルで引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円は122円半ばで取引開始。東京の仲値公示に向けて122円前半へ下落したが、同水準ではドルが買い戻され、122円半ばから後半のレンジ内で推移。海外時間、米金利上昇を横目に一時123円手前まで上昇するが、滞空時間は短かった。ロシアに対する制裁強化見通しというヘッドラインへの反応も今後の展開を窺う姿勢が強かったためか、122円後半をキープした。

Bangkok Dealer's Eye

本日はタイ3月CPIの発表を控えています。2月分は前年同月比5.28%上昇と市場予想及びタイ中銀の予想CPIレンジの上限3%も大きく上回りました。経済回復が道半ばのタイは他のアジア新興国同様に厳しい物価上昇に向き合っていて、バーツ売りの要因になっています。タイ3月CPIは前年同月比5.55%上昇すると市場では予想されています。実際、今朝発表された韓国の3月ＣＰＩでは4.1%上昇と2011年12月以来のペースで物価上昇が加速する等、ロシアのウクライナ侵攻を受けたエネルギーと商品価格の上昇が物価上昇に引き続き大きく影響しています。タイは昨年と比べると、周辺国に比べてエネルギーはもちろん、食品価格の上昇の影響も大きく、アジアの資源輸入国の中では高めのＣＰＩ上昇を記録しており、本日発表のＣＰＩも前回以上の水準を記録する可能性があります。明日の祝日を境にソンクラン休暇もあってオンショア市場の流動性が低下していくことが予想されますので、荒い値動きに注意したいところです。（鈴木）

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.